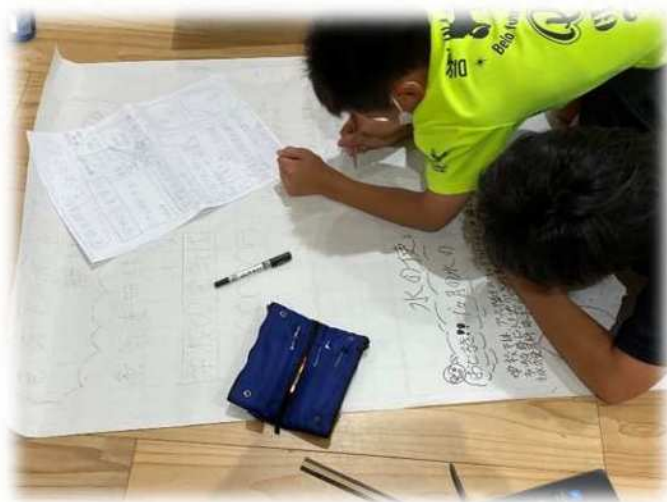


令和5年度

# 租税教育実践発表会資料



東松島市立鳴瀬桜華小学校

教諭 井上 いづみ

## 1 はじめに

東松島市立鳴瀬桜華小学校は、平成 25 年 4 月小野小学校と浜市小学校が統合して開校した。校舎は小野小学校の校舎をそのまま使用したが、2021 年 3 月末に新校舎に移転した。学区内の耕地では農業が行われている。稲作が中心であるが、上下堤地区ではそばの栽培も行われている。震災後に始められたビニールハウスでのイチゴをはじめ、様々な農作物の栽培も行われている。東日本大震災で被害を受けた浜市地区でも漁業やノリ、カキの養殖業も行われている。

鳴瀬桜華小学校では、教育目標を「絆を大切にし、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子供」とし、『夢がふくらむ楽しい学校』を合言葉に、地域とのつながりを大切にしながら教育活動を進めている。



本校はコミュニティースクールとして、地域の方々に“桜華小応援団”として、サツマイモ・枝豆・米・そばなどの栽培、登下校見守り、読み聞かせ、歴史探訪、花壇植栽、畑の整備など、様々な活動に協力していただき、学校づくりを進めている。

児童は、広々とした新校舎で伸び伸びと学校生活を送っている。校舎を取り巻くベランダや、3階まで突き抜けた中央階段、各階にある広いホールなど、他校ではなかなか見られない造りを自慢に思っている児童も多い。

## 2 児童の実態

本学級は、男子 15 名、女子 24 名、計 39 名で構成されている。昨年度まで 2 クラスだったが、本年度 1 クラスになったこともあり、4 月当初は戸惑いがある場面も見られたが、男女の仲も良く、様々な活動に意欲的に取り組む様子が見られる。

今回、租税教育を行うにあたり、児童がどの程度税について理解しているのかを把握するためにアンケート調査をした。結果は以下の通りである。

1 税金にはどんな種類があるでしょうか。	・消費税（39名） ・所得税（11名） ・住民税（5名） ・固定資産税（1名） ・自動車税（1名）・酒税（1名）・たばこ税（1名）
2 税金は何に使われているでしょうか。	・公共施設の建設費（6名）・学校（7名）・病院（3名） ・教科書（5名）・公園（4名）・公務員（1名）

税については、消費税などの身近な税は理解していたものの、使い道などについてはあまり理解していない児童が多く見られた。

税があることは理解しているものの、税に関する基礎的・基本的な知識や興味関心が乏しいと考えられるので、租税教育を通して基礎的・基本的な知識の定着を図り、税に関する興味関心を高められるようにしたい。さらに、身近なところで多くの税が使われていることを理解し、その大切さを実感させるような指導をしていきたい。

### 3 指導に当たって

指導に当たり、以下のような手立てを講じていく。

(1) 税に関する基礎的・基本的な知識の定着

石巻地区の税務関係者の方に講師となっただき、租税教室を実施する。そこで、税金について学び、種類や使い道などについて具体的に教えていただく。

(2) 税に対する興味関心の向上

児童の自慢の校舎が税金で建設されたことを取り上げ、建設費用だけでなく、電気代や水道代など、普段何気なく使用しているものが税金によって維持されていることを知り、身近なところで税が使われていることを実感できるようにする。

(3) 身近な税の活用から課題を見つけ、改善のための手立てを考え実践する

実際の校舎の建設費用と、月の電気料金、水道料金を知らせる。自分たちの学校生活を支えるために多くの税が使われていることを知り、少しでも無駄をなくそうという気持ちを育てたい。さらに、自分たちが得た知識を下級生にも知らせるために、税金を無駄遣いしないために自分たちができることを形にして残すようにする。

### 4 指導計画

時		内 容
1	○選挙のしくみと税金の働き	・選挙のしくみや税金の働きについて知る。 ・公共サービスや公共施設にかかる費用の多くは税金によって賄われていることを知る。 (社会科)
2	○自分たちの暮らしと税金の関わり	・もしも税金がなかったら？ ・自分たちの暮らしと税金 ・税の集め方・使われ方 (石巻法人会の方による租税教室)
3	○身近な税について	・桜華小の建設にどれぐらいの税金が使われたのかを知る。 ・建設費だけではなく、普段の学校生活でも税金が使われていることを知る。 ・税金を無駄にしないためにも自分たちができることを考え、それがSDGsにも関係することを知る。 (総合的な学習の時間)
4	○税の無駄をなくすために自分たちができること	・自分たちが分かったことややるべきことをポスターや新聞などにして下級生にも伝え、税を無駄遣いしないようすることを呼び掛ける。 (総合的な学習の時間)

## 5 実践

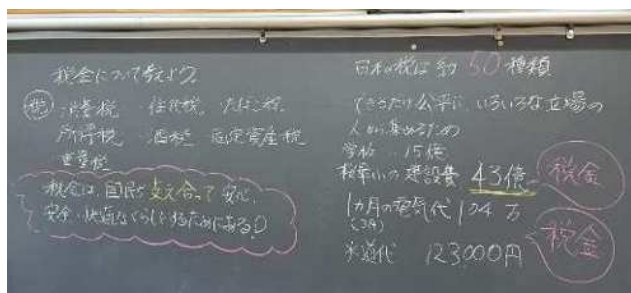
### (1) 税に関する基礎的・基本的な知識の定着

租税教室で、講師の方から税の種類や使い道、そして児童にとって身近な消費税がどのように使われているかなど、スライドを活用して分かりやすく教えていただいた。さらに、税金がなくなったらどのような世の中になるのかを動画で紹介していただいたことで、税金はなくてはならない大切なものだ実感できたようである。租税教室後の児童の感想にも、「税金がないと、自分たちの暮らしは大変なことになる。」「消費税は必要ないと思っていたけど、今日話を聞いて必要なものだということが分かった。」といったことが多く書かれており、税の必要性を感じたようだ。



### (2) 税に対する興味関心の向上

子供たち自慢の桜華小を建設するのにおよそ43億円の費用がかかったことを知らせた。租税教室で、一般的に学校の建築にかかる費用は15億円ほどだと聞いていたので、この金額には大変驚いたようであった。さらに、本校は1階から3階まで吹き抜けになっている階段があったり、各階にホールがあったりと非常に開放的な空間になっている。これらのスペースにもエアコンが設置されていることもあり、暖房を多く使用する冬場には、月に100万円を超える電気がかかっていること、その額が市内の他校と比較して2倍ほどになっていることなどを知らせると大変驚いていた。この他、水道料金も知らせると、建設だけではなく、学校生活を送る上でもかなりの額の税金が自分たちのために使われていることに気付いたよう



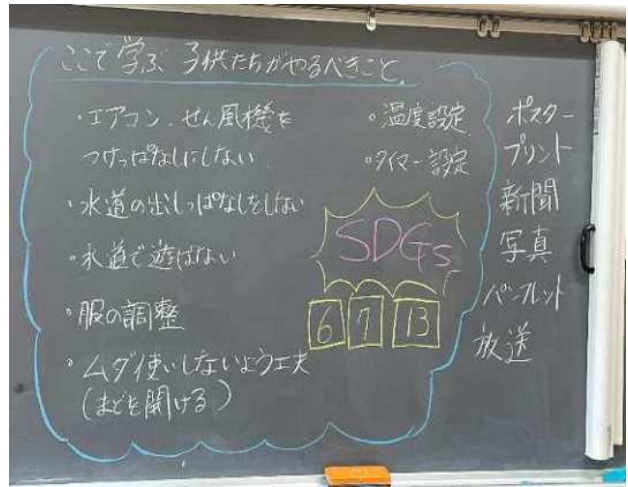
で、税に対する関心も一気に高まったことを感じた。

ここで、大切な税金を無駄にしないために自分たちができることを考えさせた。電気や水道に多くの税金が使われていることを知った子供たちは、電気をこまめに消すことや、エアコンの設定温度を上げること、水道を出しっ放しにしないことなど、自分たちができることを次々と提案した。さらには、東松島市から配布されているSDGsの冊子を使い、それらがSDGsにもつながることを確認した。



(3) 身近な税の活用から課題を見つけ、改善のための手立てを考え実践する

6年生はあと数カ月で卒業してしまう。子供たちは、「自分たちが学んだこと、税金の無駄遣いを防ぐために自分たちがやるべきことを下級生に伝え、取組を継続してほしい。」と、何かの形にして残していくことを考えた。子供たちから出された提案は、「ポスター」、「壁新聞」、「パンフレット」、「おたより」である。その他、放送委員の子供たちを中心に、校内放送で呼び掛けることも提案された。子供たちはそれぞれのグループに分かれて作成を開始した。



六年生からのお知らせです。  
 六年生は社会科で税金の勉強をしました。  
 税金とは、日本に住む人が協力して安心・安全な暮らしのために払わなければ、いけないお金のことです。  
 例えば所得税、住民税、重量税、たばこ税、酒税などです。  
 皆さんが払ったことがある税金は、消費税といってモノを買ったときに払う税金ですね。  
 この立派な桜華小学校も実は税金で、できています。  
 みんなが毎日使っている学校の電気や、水道などのお金も実は!!税金から出されています!  
 しかも、この物づく立派な桜華小の電気代や水道代はほかの学校よりもかなり高いそうです。これからもずっと素敵な桜華小を継続するために電気や水道を使いすぎないように心掛けていきましょう。そのために私たち六年生は壁新聞やポスター、パンフレット、写真を作り様々な取り組みをしています。色々なところに壁新聞やポスターなどがあるので見てみてくださいね。  
 これで六年生からのお知らせを終わります。

児童が作った呼び掛けの放送原稿

出来上がったポスターは各教室のコンセント近くに掲示してもらおうよう各クラスに依頼した。その他、玄関ホールに壁新聞を掲示したり、パンフレットを配布したりと、思い思いの方法で全校児童に呼び掛けた。

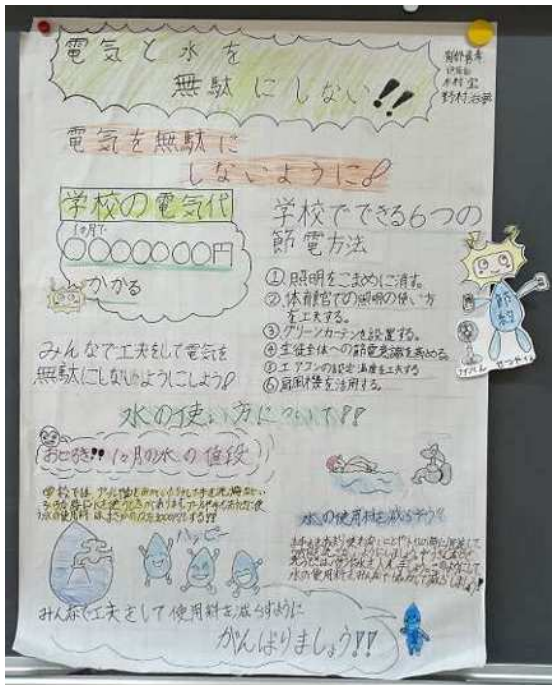
このような取組が、さらに税への関心を高め、税を“自分事”として捉えるきっかけになったと感じる。



パンフレット



おたより



壁新聞



気を付けてほしいところの写真を撮ってポスターに

## 7 成果と課題

- 租税教室の実施は、税についての基礎知識を得るために有効であった。
- 自分の通っている学校と税との関わりを学習教材にしたことで、興味関心が高まり、税金の大切さを自分事として考えることができた。
- 大切な税金を無駄にしないために自分たちができることを「考えるだけでなく、行動に移そう。」と投げ掛けたことで、自分たちが気を付けることに加え、ポスター等を作成して全校児童に伝え、継続を呼び掛けることができた。
- 租税教育の学習は、社会科の内容だけでは時数も少なく理解が難しい。租税教育も盛り込んだ指導計画を作成し、位置づけていく必要がある。